

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国木材株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号

(3) 業種

一般製材業 (No. 1 2 1 1)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26（2014）年度を基準年度とし、令和4（2022）年から令和8（2026）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エネルギー起源CO₂：製品生産量（千m³）
メタン・一酸化二窒素：バイオマスボイラー蒸発量（千t）

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成26年度 (2014)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	10.24	9.01 12.0	7.44 27.3	7.69 24.9				
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	6.09	6.094 0.0	7.584 -24.5	0.113 98.2				
一酸化二窒素	65.65	65.65 0.0	26.42 59.8	0.94 98.6				
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	8.72	7.676 12.0	8.266 5.2	8.231 5.6				

実績に対する 自己評価	- 改正省エネ法により今回報告分から非化石燃料もエネルギー使用量へと加算されるようになったが今回報告分ではエネルギー消費原単位および対前年度比は旧省エネ法の数値を用いての評価だった為、本報告もそれに倣い旧省エネ法数値を用いて評価した。 - エネルギー起源CO2原単位は工場が増産により長時間稼働しているなか1号バイオマス発電が設備不具合で停止したり燃料不足で負荷を下げて運転した期間がある為、前年度より3.3%の悪化となったが基準年度と比べると24.9%削減できている。 - メタン、一酸化二窒素は木材専焼バイオマスボイラーの排出係数を選択する設備分類が今回の報告分から従来選択していた分類よりも適切な分類が新たに追加された為、環境省確認のもと分類を変更した結果、排出量が低減した。
----------------	---

※ 削減率(c) = $((a)-(b))/(a) \times 100$ 削減量の対基準年度比(e) = $((a)-(d))/(a) \times 100$

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力原単位の削減	基準年度比21.4%削減	・ バイオマス発電設備の稼働率向上 ・ 高効率照明器具への更新 ・ 無駄な電力消費の削減
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	FIT認定太陽光発電設備による温室効果ガス削減（グループ会社含む全社取り組み）	温室効果ガス 年間約5,000t-CO2削減 (グループ会社含む全社合計)	全社モジュール出力合計12,102kW 2023年度 温室効果ガス削減効果 5,022t-CO2
2	FIT認定木質バイオマス発電設備による温室効果ガス削減（グループ会社含む全社取り組み）	温室効果ガス 年間約170,000t-CO2削減 (グループ会社含む全社合計)	・2023年7月 日向工場(宮崎県日向市)にてグループ会社による出力14,500kWの高効率FITバイオマス発電プラント(2号機)が完成 ・2023年12月 鹿島工場(茨城県神栖市)にて出力2,100kWの高効率バイオマス専焼構内熱電供給プラントが完成 ・2024年4月 能代工場(秋田県能代市)にて出力2,090kWの高効率バイオマス専焼構内熱電供給プラントが完成予定 ・2025年4月 鹿島工場(茨城県神栖市)にてグループ会社による出力9,990kWの高効率FITバイオマス専焼発電プラントが完成予定(既存の21,000kW発電設備は2023年7月末で廃止) ・2026年9月 能代工場(秋田県能代市)にてグループ会社による出力9,990kWの高効率FITバイオマス専焼発電プラントが完成予定 全社出力計：71,280kW 《計画全設備完成後は 93,350 kWとなる》 2023年度 温室効果ガス削減効果 213,250 t-CO2

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。